

2008年3月18日

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

JFSの新サービス「CO₂クレジット小口販売サービス」の開始について

東京電力グループのESCO(*注1)事業会社「日本ファシリティ・ソリューション株式会社(以下、JFS)」は、このたび、2007年12月にリリースした「CO₂排出削減保証付きESCOサービス(略称:W保証ESCOサービス)」に引き続くCO₂ソリューションサービス第二弾として、電力会社の子会社として初めて「CO₂クレジット小口販売サービス」の提供を開始しました。

本サービスは、原則として同社の省エネサービスをご利用されているお客さまを対象に、通常数千トン以上の単位での取引が一般的なCO₂クレジットを、最低100トンからの小口で販売するものです。

京都議定書第一約束期間の開始と目標達成計画の改定、さらにCSRの一環としての企業の環境パフォーマンス重視の傾向といった社会の動きに呼応して、CO₂排出削減に向けた取り組みが拡大しており、一方で対策オプションの多様化への期待からCO₂クレジットへのニーズが高まりつつあります。

JFSでは、こういったニーズにきめ細かくお応えするため、お客さまの運用改善やESCOなどによる省エネ努力を補完するものとして、省エネ目標達成に必要なCO₂クレジットを小口で販売するものです。

JFSは、今後もお客さまのエネルギーとCO₂に関する課題を一体的に解決するソリューションを提供して参ります。

(注1)ESCOとは、Energy Service Companyの略。「ESCO事業」とは、顧客(工場・ビル・ホテル等)に対し設備改善によるエネルギー効率化サービスを提供、効率化を保証し、顧客の光熱費削減分から収益を受け取る事業です。

以 上